

Ⅱ. 研究所の概要

1. 組織

(1) 組織の概要(2017年3月31日現在)

霊長類研究所組織図



所長	湯 本 貴 和	(京都大学副理事 (宇治・遠隔地キャンパス担当))
運営委員	寶 田 昌 彦	(京都大学霊長類研究所 教授)
(順不同)	友 永 雅 己	(京都大学霊長類研究所 教授)
	中 務 真 人	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	阿 形 清 和	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	中 川 尚 史	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	伊 佐 正	(京都大学大学院医学研究科 教授)
	諏 訪 元	(東京大学総合研究博物館 教授)
	河 村 正 二	(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
	中 道 正 之	(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)
	高 畑 由起夫	(関西学院大学総合政策学部 教授)
	颯 田 葉 子	(総合研究大学院大学先端科学研究科 教授)
	遠 藤 秀 紀	(東京大学総合研究博物館 教授)
	泰 羅 雅 登	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授)
	五百部 裕	(椋山女学園大学人間関係学部 教授)
事務長	牛 田 俊 夫	

職員の内訳

教授	准教授	助教	特定研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(時間)	合計
13	10	13	11	7	8	62	118	180

大学院生・研究者等の内訳

博士課程	修士課程	特別研究学生	外国人共同研究者	特別研究員(PD)	合計
23	27	0	0	0	50

(2) 所員一覧(2017年3月31日現在)

進化形態分野 Fax:0568-61-5775

濱田 穰	教授
平崎 鋭矢	准教授
伊藤 毅	助教
田中 美希子	事務補佐員
若森 参	大学院生

系統発生分野 Fax:0568-63-0536

高井 正成	教授
西村 剛	准教授
江木 直子	助教
國枝 匠	技術補佐員
坪内 寿美子	技術補佐員
服部 美里	技術補佐員
INSANI, Halmi	大学院生
浅見 真生	大学院生

生態保全分野 Fax:0568-63-0564

湯本 貴和	教授
半谷 吾郎	准教授
橋本 千絵	助教
倉田 圭子	技術補佐員
澤田 晶子	研究員
西川 真理	研究員
毛利 恵子	研究員
栗原 洋介	大学院生
SARABIAN, Cecile Anna	大学院生
武 真祈子	大学院生
徳重 江美	大学院生
本田 剛章	大学院生
峠 明杜	大学院生
中村 泉	大学院生

社会進化分野 Fax:0568-63-0565

古市 剛史	教授
Huffman, Michael Alan	准教授
辻 大和	助教
広瀬 しのぶ	事務補佐員
山元 佐織	事務補佐員
牧野瀬 恵美子	技術補佐員
竹元 博幸	研究員
柳 興鎮	大学院生
RIGAILL, Lucie Marie Louise	大学院生
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	大学院生
豊田 有	大学院生
戸田 和弥	大学院生
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	大学院生

NAUTIYAL, Himani	大学院生
石塚 真太郎	大学院生
五明 浩子	大学院生
岡村 弘樹	大学院生
BROCHE JR., Nelson	大学院生

思考言語分野 Fax:0568-62-2428

友永 雅己	教授
林 美里	助教
岩原 真利	特定研究員
綿貫 宏史朗	特定研究員
打越 万喜子	特定研究員
奥村 由香利	事務補佐員
大藪 陽子	技術補佐員
市野 悦子	教務補佐員
酒井 道子	教務補佐員
萩 博文	教務補佐員
高島 友子	教務補佐員
辻内 祐美	教務補佐員
GONSETH, Chloe Marie	教務補佐員
平栗 明実	研究支援推進員
金森 朝子	研究員
櫻庭 陽子	研究員
DA SILVA MENDONCA, Renata Andreia	研究員
平田 加奈子	研究員
村松 明徳	研究員
WILSON, Duncan Andrew	大学院生
ALLANIC, Morgane	大学院生
GAO, Jie	大学院生
川口 ゆり	大学院生

認知学習分野 Fax:0568-62-9552

正高 信男	教授
後藤 幸織	准教授
香田 啓貴	助教
新谷 さとみ	技術補佐員
大洞 つかさ	技術補佐員
世良 小百合	技術補佐員
石田 恵子	技術補佐員
道見 里美	技術補佐員
水野 名緒子	技術補佐員
伊藤 亮	研究員
佐藤 杏奈	大学院生
大野 邦久	大学院生
金子 正弘	大学院生
入口 真夕子	大学院生
藤村 留美	大学院生
柴田 柚香	大学院生
黒木 結花	大学院生

高次脳機能分野 Fax:0568-63-0563

中村 克樹	教授
宮地 重弘	准教授
脇田 真清	助教
鴻池 菜保	特定助教
池田 琢朗	特定研究員
竹本 篤史	特定研究員
三輪 美樹	特定研究員
櫻井 彩華	技術補佐員
鈴木 比呂美	技術補佐員
鈴木 冬華	技術補佐員
藤田 恵子	技術補佐員
正村 聡美	技術補佐員
禰占 雅史	研究員
入來 篤史	学外非常勤講師
金 侑璃	大学院生
酒多 穂波	大学院生
岩沖 晴彦	大学院生
坂田 良徳	大学院生
櫛原 慧	大学院生

伯川 美穂	教務補佐員
橋戸 南美	研究員
北島 龍之介	大学院生
西 栄美子	大学院生
西山 瑠衣	大学院生
糸井川 壮大	大学院生
伊藤 達矢	大学院生
河本 悠吾	大学院生
黒木 康太	大学院生

細胞生理分野 Fax:0568-62-9554

古賀 章彦	教授
岡本 宗裕	教授
木下 こづえ	助教
澤村 育栄	事務補佐員
榎元 裕紀	技術補佐員
FRIAS VILLARROE, Liesbeth Martina	大学院生
佐藤 容	大学院生

附属人類進化モデル研究センター

Fax:0568-62-9559

岡本 宗裕	センター長・教授(兼)
明里 宏文	教授
川本 芳	准教授
鈴木 樹理	准教授
田中 洋之	助教
宮部 貴子	助教
関 洋平	特定研究員
宮本 陽子	特定研究員
森本 真弓	技術専門職員
兼子 明久	技術専門職員
前田 典彦	技術専門職員
愛洲 星太郎	技術職員
石上 暁代	技術職員
夏目 尊好	技術職員
橋本 直子	技術職員
山中 淳史	技術職員
阿部 恵	事務補佐員
荻野 奈美	技能補佐員
高瀬 こがみ	技能補佐員
西岡 享子	技能補佐員
西場 正子	技能補佐員
辻 薫	技術補佐員
新美 幸	技術補佐員
村田 めぐみ	教務補佐員
尾鷲 享子	技能補佐員
佐々木 敬子	技能補佐員
釜中 慶朗	教務補佐員
川本 咲江	技能補佐員

統合脳システム分野 Fax:0568-63-0416

高田 昌彦	教授
大石 高生	准教授
井上 謙一	助教
上園 志織	特定研究員
MCCAIRN, Kevin William	特定研究員
山中 創	特定研究員
上野 瑠惟	技術補佐員
後藤 有紀	事務補佐員
梅村 真理子	技術補佐員
長屋 清美	技能補佐員
中野 真由子	技術補佐員
長屋 七奈	技術補佐員
木村 和宏	技術補佐員
藤原 真紀	研究員
小笠原 宇弥	大学院生
田辺 創思	大学院生
高田 裕生	大学院生
柘植 仁美	大学院生

ゲノム進化分野 Fax:0568-62-9557

平井 啓久	教授
今井 啓雄	准教授
今村 公紀	助教
安武 香織	事務補佐員
梅村 美穂子	技術補佐員
谷 和女	技術補佐員
平井 百合子	技術補佐員

井戸 みゆき	技術補佐員
井上 千聡	技術補佐員
岩田 和子	技能補佐員
勝谷 えり子	技能補佐員
子川 みどり	技能補佐員
阿部 政光	教務補佐員
大堀 美佳	研究支援推進員
小幡 涼子	研究支援推進員
後藤 久美子	研究支援推進員
ゴドジャリ 静	研究支援推進員
塩澤 裕子	研究支援推進員
葉栗 和枝	研究支援推進員
堀内 ゆかり	研究支援推進員
横江 実穂子	研究支援推進員
奥村 朋子	事務補佐員
安江 美雪	技術補佐員
荒川 龍児	技能補佐員
和泉 津佳沙	技能補佐員
大川 夏菜	技能補佐員
倉知 美沙	技能補佐員
常川 千穂	技能補佐員
常盤 准子	技能補佐員
濱田 一郎	技能補佐員
熊谷 かつ江	教務補佐員
鷺崎 彩夏	研究員
濱井 美弥	研究員

附属国際共同先端研究センター

湯本 貴和	センター長
BERCOVITCH, Fred Bruce	教授
足立 幾磨	助教
檜垣 早紀	特定職員
時吉 真由美	事務補佐員
WATSON, Claire Fiona Esther	研究員

チンパンジー(林原)研究部門 (H29.12.31まで)

友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)
藤澤 道子	寄附研究部門教員

ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)

研究部門 (H31.6.30まで)

湯本 貴和	教授(兼)
友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)

長期野外研究プロジェクト

岡野 鈴子	技術補佐員
坂巻 哲也	研究員

徳山 奈帆子	研究員
--------	-----

所長室

湯本 貴和	所長
大井 由里	事務補佐員

事務部 Fax:0568-63-0085

牛田 俊夫	事務長
-------	-----

総務掛

藤井 純子	掛長
新宅 優有	事務職員
林 知佳	特定職員
石田 直也	事務補佐員
澤田 彰子	事務補佐員
松澤 美津子	事務補佐員
浅井 麻希	事務補佐員
山本 理恵	事務補佐員
宿泊棟	
馬場 ゆかり	労務補佐員
福富 美幸	労務補佐員

研究助成掛

助光 和宏	掛長(兼)
松野 友紀	事務職員
小野木 利枝	事務補佐員
江川 美雪	事務補佐員
川上 美穂	事務補佐員
図書室	
高井 一恵	事務職員
辻 智子	事務補佐員

会計掛

助光 和宏	掛長
香川 大作	事務職員
亀井 美幸	事務補佐員
高橋 麻美	事務補佐員
多目的ホール	
日比野 恵美子	労務補佐員
松本 公恵	労務補佐員
宮地 理恵子	労務補佐員
矢野 奈生	労務補佐員

情報検索室

福富 憲司	
-------	--

(3) 大学院生

2016 年度 生物科学専攻(霊長類学・野生動物系)

氏名	学年	指導教員
大野 邦久	D3	正高 信男 脇田 真清
金 侑璃	D3	中村 克樹 江木 直子
栗原 洋介	D3	半谷 吾郎 友永 雅己
酒多 穂波	D3	中村 克樹 今井 啓雄
佐藤 杏奈	D3	正高 信男 西村 剛
BERNSTEIN, Sofia Kaliope	D3	M.A.Huffman 香田 啓貴 F.B.BERCOVITCH
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	D3	M.A.Huffman 足立 幾磨
柳 興鎮	D3	古市 剛史 古賀 章彦 橋本 千絵
RIGAILL, Lucie Marie Louise	D3	古市 剛史 平崎 鋭矢
若森 参	D3	濱田 穰 川本 芳
ALLANIC, Morgane	D2	友永 雅己 古市 剛史 林 美里
WILSON, Duncan Andrew	D2	友永 雅己 A.J.J.MACINTOSH
小笠原 宇弥	D2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
金子 正弘	D2	正高 信男 脇田 真清
北島 龍之介	D2	平井 啓久 大石 高生
SARABIAN, Cecile Anna	D2	友永 雅己 A.J.J.MACINTOSH 中村 美知夫
豊田 有	D2	古市 剛史 橋本 千絵 香田 啓貴
西 栄美子	D2	今井 啓雄 高田 昌彦
FRIAS VILLARROEL, Liesbeth Martina	D2	岡本 宗裕 A.J.J.MACINTOSH
入口 真夕子	D1	正高 信男 脇田 真清
戸田 和弥	D1	古市 剛史 川本 芳
石塚 真太郎	M2	古市 剛史 川本 芳
入角 晃太郎	M2	後藤 幸織 友永 雅己

岩沖 晴彦	M2	中村 克樹 今村 公紀
上野 貴文	M2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
五明 浩子	M2	古市 剛史 木下 こづえ
佐藤 容	M2	岡本 宗裕 大石 高生 木下 こづえ
柴田 柚香	M2	正高 信男 林 美里
武 真祈子	M2	湯本 貴和 江木 直子
田辺 創思	M2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
徳重 江美	M2	古市 剛史 橋本 千絵 岡本 宗裕
西山 瑠衣	M2	今井 啓雄 大石 高生
藤村 留美	M2	正高 信男 脇田 真清
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	M2	M.A.Huffman F.B.BERCOVITCH 川本 芳
本田 剛章	M2	半谷 吾郎 古賀 章彦
浅見 真生	M1	高井 正成 半谷 吾郎
糸井川 壮大	M1	今井 啓雄 川本 芳
伊藤 達矢	M1	平井 啓久 辻 大和 今村 公紀
岡村 弘樹	M1	古市 剛史 田中 洋之 橋本 千絵
GAO, Jie	M1	友永 雅己 M.A.Huffman
川口 ゆり	M1	友永 雅己 香田 啓貴
河本 悠吾	M1	今井 啓雄 辻 大和
黒木 康太	M1	平井 啓久 半谷 吾郎 今村 公紀
黒木 結花	M1	正高 信男 脇田 真清
坂田 良徳	M1	中村 克樹 辻 大和
高田 裕生	M1	高田 昌彦 宮地 重弘
柘植 仁美	M1	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一

峠 明杜	M1	湯本 貴和 岡本 宗裕 橋本 千絵
中村 泉	M1	半谷 吾郎 平井 啓久
樋原 慧	M1	中村 克樹 湯本 貴和

(4) 研究支援推進員

氏名	採用期間
横江 実穂子	2016年4月1日～2017年3月31日
葉栗 和枝	2016年4月1日～2017年3月31日
堀内 ゆかり	2016年4月1日～2017年3月31日
ゴドジャリ 静	2016年4月1日～2017年3月31日
塩澤 裕子	2016年4月1日～2017年3月31日
丹羽 紗葉子	2016年4月1日～2016年8月31日
大堀 美佳	2016年10月1日～2017年3月31日
小幡 涼子	2017年1月1日～2017年3月31日
平栗 明実	2016年7月1日～2017年3月31日

2. 予算概況

予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	492,691
	物件費	203,466
	物件費(機能強化経費)	132,721
	計	828,878
外部資金	受託研究費 (8 件)	178,905
	受託事業費 (4 件)	25,800
	共同研究費 (5 件)	15,260
	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 (85 件)	269,015
	ナショナル・バイオリソース・プロジェクト (2 件)	98,575
	研究大学強化促進事業【SPIRITS】(2 件)	3,626
	科学技術人材育成費補助金 (1 件)	5,000
	国際会議開催補助金 (犬山市) (1 件)	77
	寄附金 (10 件)	52,144
	間接経費、一般管理費等	53,797
	計	702,199
合 計		1,531,077

(1) 2016 年度(平成 28 年度)受託研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託研究費	高田 昌彦	9,500,000	AMED・CREST 革新的先端研究開発支援事業 (AMED) 霊長類の脳ー小脳ー基底核ネットワークにおける運動情報処理の分散と統合 (脳ー小脳ー基底核ネットワークの構造基盤の解明)
受託研究費	中村 克樹	385,000	株式会社公文教育研究会 読書及び学習の過程における幼児・児童の視線変化についての調査研究
受託研究費	明里 宏文	23,522,310	感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業 (AMED) H I V 感染症の根治に向けた基盤的研究
受託研究費	中村 克樹	114,615,385	脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト (AMED) 「革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明」 (マーマセットの脳機能マップの作成とその基盤となる神経回路の解明及び参画研究者に対する支援)

受託研究費	高田 昌彦	15,723,077	脳科学研究戦略推進プログラム (AMED) 中枢神経回路の再編成を制御する BMI 技術と生物学的手法の構築 (マカクザルを用いた脊髄損傷後の中枢への物理的刺激による可塑性制御機構の解明)
受託研究費	井上 謙一	14,000,000	戦略的創造研究推進事業・さきがけ (JST) 光操作による神経ネットワークの高解像度 5D 解析法の確立を目指した基盤技術開発
受託研究費	川本 芳	356,000	株式会社野生動物保護管理事務所 (千葉県事業) 千葉県ニホンザル交雑判定 (千葉県事業)
受託研究費	川本 芳	802,878	株式会社野生動物保護管理事務所 (千葉県事業) 富津市動物園のニホンザル交雑判定 (富津市事業、房総自然博物館からの再委託業務)
合 計	8 件	178,904,650	

※金額は、間接経費を除く

(2) 2016 年度(平成 28 年度)受託事業費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託事業費	松沢 哲郎	15,000,000	心の起源を探索比較認知科学研究の国際連携拠点形成
受託事業費	古市 剛史	6,800,000	類人猿地域個体群の遺伝学・感染症学的絶滅リスクの評価に関する研究
受託事業費	今井 啓雄	2,000,000	多様なインドネシア産霊長類の分子生態研究
受託事業費	濱田 穰	2,000,000	アジア霊長類の進化史解明と保全：コンソーシアム構築による
合 計	4 件	25,800,000	

※金額は、委託手数料等を除く

(3) 2016 年度(平成 28 年度)共同研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
共同研究費	中村 克樹	2,000,000	霊長類を対象とした動作理解の比較研究
共同研究費	高田 昌彦	432,000	中枢神経傷害後の神経回路修復と機能再建を促進する抗体治療薬の評
共同研究費	後藤 幸織	100,000	黄杞エキスの認知症改善に関する研究
共同研究費	今井 啓雄	7,273,000	霊長類の味覚・嗅覚に関する研究 (霊長類における味覚・嗅覚受容体遺
共同研究費	今井 啓雄	5,454,600	霊長類の味覚・嗅覚に関する研究 (霊長類における味覚受容体発現細胞の同定)
合 計	5 件	15,259,600	

※金額は、産官学連携推進費を除く

(4) 2016 年度(平成 28 年度)文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
新学術領域研究	井上 謙一	2,200,000	神経回路の選択的可視化と操作を実現するウイルスベクターシステムの開発
新学術領域研究	高田 昌彦	6,300,000	サル脊髄損傷モデルを用いた代償性神経回路再編メカニズムの解明
新学術領域研究	高田 昌彦	4,000,000	パーキンソン病サルモデルの多領域多点同時記録による集団発振現象および同期化の探索
新学術領域研究	今井 啓雄	3,400,000	ターゲット遺伝子法によるグリアネットモデルサルの同定と繁殖の試み
新学術領域研究・分担	足立 幾磨	1,000,000	周産期からの身体感覚と社会的認知の発達の関連性の解明に基づく障害理解
新学術領域研究・分担	井上 謙一	5,000,000	動物モデルへの双方向性計測操作による発振現象の理解
新学術領域研究・分担	高田 昌彦	3,330,000	先端モデル動物支援プラットフォーム
新学術領域研究・分担	高田 昌彦	150,000	生命科学連携推進協議会

特別推進研究	松沢 哲郎	80,000,000	言語と利他性の霊長類的基盤
基盤研究 (S)	友永 雅己	32,100,000	野生の認知科学:こころの進化とその多様性の解明のための比較認知科学的アプローチ
基盤研究 (A)	湯本 貴和	2,546,654	【繰越】大型類人猿を含む霊長類群集と森林構造の比較研究
基盤研究 (A)	古市 剛史	6,100,000	ヒト科の集団と地域社会の役割の再考:Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から
基盤研究 (A)	古市 剛史	1,200,000	【繰越】ヒト科の集団と地域社会の役割の再考:Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から
基盤研究 (A)	高田 昌彦	13,000,000	先端的神経ネットワーク解析による霊長類大脳眼球運動制御システムの構造と機能の解明
基盤研究 (A)	湯本 貴和	10,300,000	人為攪乱影響下におけるアフリカ大型類人猿の生態学的研究
基盤研究 (A)・分担	高井 正成	750,000	辺縁の人類史: アジア島嶼域におけるユニークな人類進化をさぐる
基盤研究 (A)・分担	湯本 貴和	20,000	アフリカ類人猿のコミュニティの構造と進化
基盤研究 (A)・分担	古賀 章彦	880,000	霊長類ゲノムをモデルとした塩基配列進化の総合的研究
基盤研究 (A)・分担	橋本 千絵	1,100,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
基盤研究 (A)・分担	今井 啓雄	600,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
基盤研究 (A)・分担	足立 幾磨	500,000	チンパンジーとボノボの道具的知性と社会的知性
基盤研究 (A)・分担	早川 卓志)	500,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
基盤研究 (A)・分担	今井 啓雄	700,000	霊長類感覚多重遺伝子族の大規模集団解析による嗅覚・味覚・色覚の総体的進化像の解明
基盤研究 (A)・分担	香田 啓貴	100,000	サルと自閉症児を対象とした援助行動の生物学的・進化的要因解明に関する実験的研究
基盤研究 (B)	半谷 吾郎	2,600,000	霊長類の食性と腸内細菌との共進化
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	半谷 吾郎	11,800,000	霊長類の食性と腸内細菌との共進化(国際共同研究強化)
基盤研究 (B)	橋本 千絵	3,000,000	生殖ホルモンの動態と性行動の分析による野生チンパンジーとボノボの繁殖戦略の研究
基盤研究 (B)	高井 正成	3,200,000	アジア地域の霊長類相の成立に関する古生物学的研究
基盤研究 (B)	岡本 宗裕	3,500,000	ニホンザル血小板減少症の発症・非発症機序の解明とマカク類のリスク評価法の開発
基盤研究 (B)	岡本 宗裕	2,000,000	【繰越】ニホンザル血小板減少症の発症・非発症機序の解明とマカク類のリスク評価法の開発
基盤研究 (B)	古賀 章彦	2,900,000	ヒトと類人猿のゲノムの大きな違い:組換え頻度に関する仮説のゲノム編集を用いた検証
基盤研究 (B)	平崎 鋭矢	2,600,000	ヒトはなぜ二足で歩けるのか?哺乳類モデルから探る二足歩行の戦略とその進化
基盤研究 (B)	今井 啓雄	3,100,000	霊長類採食活動多様性の感覚的基盤
基盤研究 (B)	濱田 穰	3,700,000	マカクの進化地理学:アジアにおける東西分散と分断の進化史
基盤研究 (B)	西村 剛	3,200,000	霊長類の発声メカニズムの多様性とヒト発声の進化プロセスに関する医工生物学融合研究
基盤研究 (B)・分担	湯本 貴和	200,000	東南アジアにおける農林業と環境の両立にむけた生態系サービス支払いの制度設計
基盤研究 (B)・分担	今井 啓雄	600,000	スラウェシ島固有のマカク属を用いた霊長類の種形成に関する遺伝領域の特定
基盤研究 (B)・分担	湯本 貴和	300,000	地域の生物文化多様性を基盤としたレジリエントな観光ガバナンスの研究
基盤研究 (B)・分担	岡本 宗裕	600,000	無鉤条虫・アジア条虫感染家畜の迅速検査法の開発と宿主特異性規定因子の探索

基盤研究 (B)・ 分担	岡本 宗裕	600,000	有鉤条虫の撲滅を目指した流行調査と土壌伝播蟻虫の網羅的検出法の開発
基盤研究 (B)・ 分担	明里 宏文	2,000,000	i P S細胞を利用したC D 4 陽性T細胞の再生医療のための基盤技術の確立
基盤研究 (C)	M.A.Huffman	1,100,000	Phenotypic and genotypic disparity in Sri Lankan primates: Dissecting a species from its morphology, ecology, parasites and genes
基盤研究 (C)	香田 啓貴	1,500,000	音声の情動伝染：音声模倣の起源に関する実験的検討
基盤研究 (C)	林 美里	1,000,000	ヒトと大型類人猿における物の操作と母子関係にみる認知発達
基盤研究 (C)	江木 直子	1,200,000	始新世ー漸新世哺乳動物相交代の実態の解明：アジア産分類群の起源と移住
基盤研究 (C)	大石 高生	1,100,000	自然発症ニホンザル個体を起点にした早老症モデルの確立
基盤研究 (C)	宮地 重弘	1,000,000	リズムに「乗る」神経メカニズムの解明
基盤研究 (C)	足立 幾磨	1,500,000	感覚間一致への比較認知科学的アプローチ
基盤研究 (C)	竹本 篤史	1,200,000	主観的輪郭知覚に伴う神経回路ダイナミクスー回転運動刺激を用いた検討
基盤研究 (C)	二宮 太平	1,400,000	霊長類モデルを用いた神経活動多領域多点記録によるトゥーレット症候群の病態解明
基盤研究 (C)	今村 公紀	1,500,000	チンパンジーiPS細胞を用いた神経発生の「ヒト化」責任遺伝子の機能的同定
基盤研究 (C)	山中 創	2,400,000	霊長類うつ病モデルを用いた「セロトニン 1B レセプター仮説」の検証
基盤研究 (C)	井上 謙一	1,300,000	霊長類遺伝子改変モデルを利用したパーキンソン病の進行・発症機序の解明
挑戦的萌芽研究	竹本 篤史	197,407	【延長】不可視フリッカーに対する定常的視覚誘発電位を利用した非侵襲的 BCI
挑戦的萌芽研究	脇田 真清	367,280	【延長】チンパンジー乳児の音列知覚機構からみたヒトらしさの解明
挑戦的萌芽研究	友永 雅己	800,000	比較認知科学の視点に立った新しい福祉科学の構築ーヒト科3種の比較を通してー
挑戦的萌芽研究	三輪 美樹	800,000	幼児虐待の連鎖・サルを対象とした不適切養育行動の世代間伝達の研究
挑戦的萌芽研究	後藤 幸織	900,000	前頭前野幼形成熟とドーパミンとの関連
挑戦的萌芽研究	西村 剛	700,000	化石と現生霊長類の類縁関係を推定する数理形態学的手法の開発
挑戦的萌芽研究	井上 謙一	1,400,000	ウイルスベクターを利用した霊長類の全脳的遺伝子導入法の開発
挑戦的萌芽研究	宮部 貴子	1,000,000	非ヒト霊長類の痛みに関する多面的研究
挑戦的萌芽研究	古賀 章彦	1,400,000	縦列反復配列の正確な塩基配列決定
挑戦的萌芽研究	半谷 吾郎	1,500,000	無脊椎動物を用いた哺乳類の個体群調査法の確立
挑戦的萌芽研究	正高 信男	1,600,000	社会構造における自閉症スペクトラム
挑戦的萌芽研究	橋本 千絵	1,200,000	野生チンパンジーにおける口腔細菌叢の伝播と食物分配
挑戦的萌芽研究	平崎 鋭矢	1,100,000	言語能力初期進化過程に関する仮説の実験的検証ー真猿類モデルを用いて
挑戦的萌芽研究・ 分担	平崎 鋭矢	100,000	三次元動力学シミュレーションに基づく霊長類四足歩行の歩容解析
若手研究 (B)	澤田 晶子	1,900,000	竹食に特化したジェントルキツネザル：シアン化合物解毒作用をもつ腸内細菌の特定
若手研究 (B)	中川 浩	1,000,000	サル脊髄損傷モデルにおける大脳皮質運動関連領野の可塑性変化機構の解明
若手研究 (B)	橋本 剛明	1,800,000	道徳的ジレンマ状況における「行動」と「判断」の乖離に関する検討
若手研究 (B)	木下 こづえ	1,500,000	オランウータンにおける近赤外分光法を用いた迅速な糞中発情ホルモン濃度測定法の確立
若手研究 (B)	辻 大和	1,300,000	DNA バーコーディングによる種同定を利用した、熱帯林の主要な種子散布者評価の試み
若手研究 (B)	早川 卓志	1,100,000	霊長類におけるゲノム・メタゲノム相関とその進化的意義の解明
若手研究 (B)	川上 文人	575,290	笑顔をもちいた対他者関係の比較認知発達科学

若手研究 (B)	西川 真理	1,239,951	薄明視という新たな視点による霊長類の3色型色覚の優位性の検証
研究活動スタート支援	Watson Claire	400,000	Cultural variation in Japanese macaques
特別研究員奨励費	半谷 吾郎 SHA, J. C.	700,000	ニホンザルの社会構造の変異：飼育群・餌付け群・野生群の比較
特別研究員奨励費	酒多 穂波	800,000	意図が生じる際の神経基盤の解明
特別研究員奨励費	RIGAILL LUCIE	900,000	排卵期のニホンザルが発する嗅覚シグナル
特別研究員奨励費	CICALISE TAKESHITA RAFAELA SAYURI	1,200,000	ニホンザルとオランウータンにおける内分泌動態に影響を与える要因について
特別研究員奨励費	豊田 有	1,000,000	ベニガオザルの繁殖システムの解明ーオス間の連合関係と繁殖競合のトレードオフ
特別研究員奨励費	栗原 洋介	1,200,000	屋久島に生息するニホンザルの社会変動を引き起こす生態学的メカニズムの解明
特別研究員奨励費	北島 龍之介	1,000,000	霊長類における神経幹細胞増殖能の比較解析ーiPS 細胞による霊長類脳進化の探求ー
奨励研究	橋本 直子	300,000	福祉的手法を用いた霊長類の行動強化に影響する要因の分析
JSPS サマー・プログラム	平井 啓久 RUIZ Cody Adam	158,500	EAPSI:Molecular characteristics of spermatogenesis in the seasonally reproducing Japanese macaque
合 計	85 件	269,015,082	

※金額は、間接経費を除く

(5) 2016 年度(平成 28 年度)

医療研究開発推進事業費補助金《ナショナル・バイオリソース・プロジェクト》 内訳一覧

研究種別	課題管理者	金 額	研 究 課 題
NBR(ニホンザル)	中村 克樹	87,564,880	大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業
GAIN(大型類人猿情報ネットワーク)	松沢 哲郎	11,010,000	大型類人猿情報ネットワークの展開
合 計	2 件	98,574,880	

※直接経費のみ

(6) 2016 年度(平成 28 年度)研究大学強化促進費補助金【SPIRITS】 内訳一覧

研究種別	課題管理者	金 額	研 究 課 題
研究大学強化促進費補助金	西村 剛	2,490,000	話しことばの進化プロセスの解明に向けた国際共同研究
研究大学強化促進費補助金	湯本 貴和	1,136,000	国際共同研究の実施に向けた取り組みに対する支援
合 計	2 件	3,626,000	

※金額は、本学自主経費を除く

(7) 2016 年度(平成 28 年度) 科学技術人材育成費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題 名
科学技術人材育成費補助金	伊藤 毅	5,000,000	科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
合 計	1 件	5,000,000	

※直接経費のみ

(8) 2016 年度(平成 28 年度) 国際会議開催補助金 (犬山市) 内訳一覧

研究種別	主担当教員	金 額	研 究 課 題
国際会議開催補助金	湯本 貴和	77,410	京都大学霊長類研究所 50 周年記念シンポジウム (犬山国際観光センター)
合 計	1 件	77,410	

※直接経費のみ

(9) 2016 年度(平成 28 年度)寄附金 内訳一覧

寄附金名称等	研究代表者	金 額	寄 附 の 目 的
寄附研究部門	湯本 貴和	38,800,000	ワイルドライフサイエンス (名古屋鉄道) 研究部門
Tourette Association of America	高田 昌彦 Kevin McCairn	3,709,988	Decoding Global Networks in a Nonhuman Primate Model of Tourette Syndrome Using PET and Electrophysiological Methodologies
トヨタ環境活動助成プログラム 2015 年度 (2 年継続の 2 年目)	松沢 哲郎	3,244,250	野生チンパンジーがくらすボソウの森と世界 自然遺産ニンバ山とをむすぶ植林 4 k m
公益信託 小野音響学研究助成基金	香田 啓貴	1,000,000	発声器官の形質特殊化と音声シグナルの共進化: テングザルの鼻の肥大化と鼻音の生物音響学的 解析を通じた検証
公益財団法人 稲盛財団 2016 年度稲盛財団研究助成	後藤 幸徹	1,000,000	社会階級におけるモノアミンの役割と精神疾患 の進化的起源の解明
平成 28 年度 東京動物園協会 野生生物保全基金	辻 大和	500,000	インドネシアのマレーヒョケザルの保全に向 けて: 繁殖と大量死に影響する環境要因の把握
公益財団法人 武田科学振興財団 2016 年度ライフサイエンス研究奨励	今村 公紀	2,000,000	チンパンジー i P S 細胞を用いた神経発生・疾 患の「ヒト化」分子基盤の解明
公益財団法人 ひと・健康・未来 研究財団 2016 年度研究助成	今井 啓雄	1,000,000	味覚・嗅覚を手がかりとした食欲増進と生命機 能維持
公益財団法人 日本科学協会 平成 28 年度笹川科学研究助成	西川 真理	640,000	新世界ザルにみられる色覚多型の維持メカニ ズムの解明 ー薄明環境に着目してー
公益財団法人 愛知県がん研究振 興会 第 41 回がんその他の悪性新生物 研究助成金	今村 公紀	250,000	チンパンジーの腫瘍耐性機構から探るヒトグリ オーマの発生メカニズムと制御
合 計	10 件	52,144,238	

※寄附金額は、全学共通経費(2%)および部局管理経費(3%)を控除した金額

3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数

2017 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書：9,631 冊(製本雑誌も含む)
洋書：18,595 冊(製本雑誌も含む)
和雑誌・中国雑誌(紀要類も含む)：856 誌
洋雑誌(紀要類も含む)：518 誌
霊長類学関連別刷(霊長類学別刷コレクション)：約 85,000 点

(2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索画面] - [所蔵館] の欄で [霊長研] を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷(霊長類学別刷コレクション)は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページの topics【霊長類学文献索引データベース】をご覧ください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

(3) 霊長類研究所図書室利用規程

I. 開室時間と休室

1. 開室時間：平日 9 時から 17 時まで。
2. 休室：土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始。その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員。
- 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属部局の図書施設もしくは附属図書館の紹介のある者。
- 4) その他一般利用者。

2. 閲覧

- 1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない。
- 2) 次の各号に掲げる場合には閲覧を制限することができる。
 - (1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成 13 年法律第 140 号、以下「情報公開法」という。)第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分。
 - (2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間。
 - (3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合。

III. 貸出及び返却

1. II の 1 の 1)の該当者及び、2)のうち予め利用者カードを提出した者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

1) 借用資料の種類と借用方法

a. 単行本

- (i) 単行本は 1 か月間借用できる。
- (ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

- (i) 製本雑誌は 3 日間借用できる。
- (ii) 借用方法は単行本に準じる。

- c. 未製本雑誌
 - (i) 未製本の雑誌は 15 時から翌朝 10 時までの間に限り借用できる。
 - (ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。
- d. 別刷
 - (i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。
 - (ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。
- e. 他機関からの借用資料
 - (i) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
 - (ii) 利用後は図書係員に返却する。
- 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
- 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
- 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。
ただし、他に借用希望者がある時は、他を優先する。
- 5) 借用後の図書は返却台に返却する。
- 2. II の 1 の 3) の該当者は、所属部局の図書施設もしくは附属図書館を通じて借用を依頼することができる。
 - 1) 借用資料は単行本のみで、所属部局図書施設内もしくは附属図書館内での利用に限る。
 - 2) 借用期限は 2 週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

IV. 総点検及び長期貸出

- 1. 定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。
- 2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。
- 3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は 1 年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

- 1. 図書室は、図書室資料に個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む)をいう)が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。
 - 1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限
 - 2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス(不正アクセス行為の禁止等に関する法律(平成 11 年法律第 128 号)第 3 条第 2 項に規定する不正アクセスをいう)を防止するために必要な措置
 - 3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施
 - 4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

VI. その他

- 1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。
- 2. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。
- 3. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。
- 4. 図書室内(書庫を含む)は禁煙とする。

附則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

4. サル類飼育頭数・動態

2016 年度（平成 28 年度）末 飼育頭数

種 名	
コモンマーモセット	133
ワタボウシタマリン	8
ヨザル	11
フサオマキザル	5
ケナガクモザル	1
ニホンザル	381
ニホンザル(NBR)*	395
アカゲザル	248
タイワンザル	2
ボンネットザル	1
カニクイザル	11
マントヒヒ	3
アジルテナガザル	3
チンパンジー	13
合 計	1215

*NBR(「ニホンザル」バイオリソース)プロジェクトで飼育しているもの

2016 年度（平成 28 年度）サル類動態表

区 分 種 名	増 加			減 少 (死亡など)											増 減	
	出 産	導 入	小 計	実験殺	事故死	外傷死	呼吸器系疾患	消化器系疾患	感染症	泌尿器	衰弱	その他	剖検不能	所外供給		小 計
コモンマーモセット	19	17	36	16			3	4			4	17			44	-8
ニホンザル	53		53	14		1		1	1		2	4			23	30
ニホンザル(NBR)	52		52	1		1	1	1				5	25		34	18
アカゲザル	35		35	4		2	1				2	2	20		31	4
フサオマキザル			0				1								1	-1
ワタボウシタマリン	1		1								2	1			3	-2
合 計	160	17	177	35	0	4	6	6	1	0	10	29	45	136	41	

5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資試料は、骨格標本、液浸標本、分子生物学用試料、CT 画像、化石模型などからなり、所外の研究者にも公開され、国内外の多くの研究者の研究推進に大きく貢献している。資料委員会では、これらの資試料の充実のために、毎年 400 点以上の新たな各種資試料の受け入れと作製を行っている。また、所蔵資試料の各種データベースを統合を進めて、多様な研究ニーズに応えられる利用環境の整備を行っている。

(1) 骨格標本(表 1、2)

霊長類の骨格標本は 9,700 点を超える(表 1)。特にニホンザルの標本は所内飼育・野生由来個体を合わせて 4,150 点以上を数え、世界最大規模のコレクションである。霊長類以外にも、約 2,000 点の獣骨標本を所蔵している(表 2)。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本は豊富で、日本産野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料といえる。標本は、新棟 4 階および本棟地階骨格資料室と栗栖地区の骨格資料室に分散して保管されている。標本の所蔵場所や各種情報は、標本データベース PRISK(霊長類)もしくは PRISK-Z(霊長類以外)で検索することができる。

(2) 液浸・冷凍標本(表 1、3)

霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本や冷凍標本は約 1,150 点である(表 1)。霊長類以外の標本も約 230 点ある(表 3)。筋系標本の割合が高いが、脳や臓器の標本も含む。このように大規模な液浸・冷凍標本コレクションは世界的に見ても稀有である。標本は、本棟地階及び栗栖地区の液浸資料室に分散して保管されている。標本については、骨格標本と同様に、PRISK および PRISK-Z で検索することができる。

(3) 分子生物学用試料(表 4)

霊長類の分子生物学用試料は、約 200 個体分 2700 点あまりを保管している。それらは、大型類人猿ネットワーク(GAIN)の情報を通じて動物園等から譲渡を受けた類人猿の臓器試料や、所内飼育の旧世界ザルや新世界ザルなどの臓器試料で、RNAlater 処理等をして冷凍保管されている。試料の保管状況や各種情報は、試料データベース PRIGEN で検索することができる。また、保管試料の一部は、九州大学有体物管理センター(<http://mmc-u.jp>)のデータベースでも公開している。

(4) CT 画像

霊長類の CT 画像データが 87 種 1300 点あまり、霊長類以外のものが 58 種 120 点あまりある。所蔵標本の CT 画像データ化を進めるとともに、動物園等の協力を得て、所外資料の CT 画像データも収集している。それら画像データは、Web 上のデータベース Digital Morphology Museum (DMM, <http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/archive>)に登録されており、インターネットを介して利用することができる。

(5) 化石模型

化石模型は、人類および中新世ホミノイドを中心に約 500 点を所蔵している。模型は、新棟 4 階骨格資料室および展示室で保管、展示されている。化石模型の各種情報は、データベース PRICAST で検索することができる。

(6) 利用方法とお願い

骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用の場合は簡便である。破壊・破損をとまなう利用も、資料委員会の審査を経た上で可能な場合もある。必要に応じて貸し出しや資料譲渡を行っている。さらに、化石模型も含めて、博物館等の展示などへの貸し出しも行っている。分子生物学用試料は、譲渡契約等の関係から、原則として共同利用・共同研究採択課題に限って譲渡提供している。資試料の利用希望者は、まずは、資料委員会もしくは、関係する所員に問い合わせてください。資試料には動物園など学外機関から譲渡された貴重なものも含まれるので、利用規約や契約等の遵守と提供機関に対する利用報告等への協力をお願いします。

資料委員会では資試料の一層の充実を図るため、野外調査などを行う方々に資試料採集への協力をお願いしています。また、諸事情から管理困難となった標本の取り扱いや、他機関所蔵の資料との交換についての相談も受けます。これらに関する連絡は、資料委員会までお願いします。

(連絡先：資料委員会 pri-shiryō@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

2016 年度(平成 28 年度)所蔵資試料

表 1 霊長類骨格および液浸・冷凍標本

和名	学名	骨格	液冷
ホミノイド	Hominoidea	121	118
テナガザル科	Hylobatidae spp.	65	53
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	44	54
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	8	4
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	4	7
旧世界ザル	Cercopithecoidea	7875	659
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	6133	502
コノハザル属	<i>Presbytis</i> spp.	168	1
ハヌマンラングール属	<i>Semnopithecus</i> spp.	4	4
ラングール属	<i>Trachypithecus</i> spp.	15	22
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	366	11
メンタワイシシバナザル属	<i>Simias concolor</i>	132	0
テングザル属	<i>Nasalis larvatus</i>	0	1
ゲエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	576	71
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	20	5
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	16	5
ゲラダヒヒ属	<i>Theropithecus gelada</i>	4	4
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	419	29
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	20	3
コロブス亜科属不明	Colobinae indet.	0	1
旧世界ザル属不明	Cercopithecoidea indet.	2	0
新世界ザル	Ceboidea	1676	260
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1032	70
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	66	23
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	52	3
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	60	4
ケモザル属	<i>Ateles</i> spp.	16	12
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3	0
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	19	2
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	101	34
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	24	2
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1	0
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1	0
ピグミーマーマセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	9	10
マーマセット属	<i>Callithrix</i> spp.	160	37
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	120	62
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6	0
マーマセット科属不明	Callitrichidae indet.	0	1
新世界ザル属不明	Ceboidea indet.	6	0
メガネザル科	Tarsiidae spp.	1	1
曲鼻猿類	Strepsirrhini	61	113
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	18	14
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	4	4
ネズミキツネザル属	<i>Microcebus</i> spp.	0	1
イタチキツネザル属	<i>Lepilemur mustelinus</i>	1	0
シファカ属	<i>Propithecus verreauxi</i>	2	0
スローロリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	16	24
ポッター属	<i>Perodicticus</i> spp.	1	1
ホソロリス属	<i>Loris</i> spp.	1	4
ガラゴ属	<i>Galago</i> spp.	18	46
ガラゴ科不明	Galagidae indet.	0	1
キツネザル上科属不明	Lemuroidea indet.	0	6

曲鼻猿類属不明	Strepsirrhini indet.	0	3
種不明	Unidentifiable	0	9
総計	Total	9734	1151

表 2 霊長類以外の骨格標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	Carnivora	1067
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(559) <i>Canis</i> , <i>Nyctereutes</i> , <i>Vulpes</i> ; イタチ科(236) <i>Lutra</i> , <i>Martes</i> , <i>Meles</i> , <i>Mustela</i> , <i>Pteronura</i> ; アシカ科(31) <i>Callorhinus</i> , <i>Eumetopias</i> , <i>Zalophus</i> ; アザラシ科(5) <i>Phoca</i> ; 鰐脚類(2) <i>Pinnipedia</i> indet.; アライグマ科(8) <i>Procyon</i> ; クマ科(143) <i>Helarctos</i> , <i>Melursus</i> , <i>Selenarctos</i> , <i>Ursus</i> ; ネコ科(51) <i>Caracal</i> , <i>Felis</i> , <i>Leptailurus</i> , <i>Neofelis</i> , <i>Panthera</i> , <i>Prionailurus</i> , <i>Profelis</i> , <i>Puma</i> ; マンダース科(5) <i>Crossarchus</i> , <i>Mungos</i> , <i>Suricata</i> ; ジャコウネコ科(26) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> , <i>Viverra</i>		
奇蹄目	Perissodactyla	12
ウマ科(10) <i>Equus</i> ; バク科(2) <i>Tapirus</i>		
鯨偶蹄目	Cetartiodactyla	469
イノシシ科(352) <i>Sus</i> ; ペッカリー科(3) <i>Tayassus</i> ; ウシ科(53) <i>Ammotragus</i> , <i>Antelope</i> , <i>Bos</i> , <i>Buvalus</i> , <i>Capra</i> , <i>Capricornis</i> , <i>Cephalophus</i> , <i>Ovis</i> ; キリン科(1) <i>Giraffa</i> ; シカ科(47) <i>Cervus</i> , <i>Hydropotes</i> , <i>Muntiacus</i> ; マイルカ科(10) <i>Tursiops</i> , <i>Delphinidae</i> indet.; 科不明/Family indet. (3)		
ツパイ目	Scandentia	51
ツパイ科(51) <i>Tupaia</i> , <i>Lyncogale</i>		
トガリネズミ目	Soricomorpha	50
トガリネズミ科(39) <i>Crociodura</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(11) <i>Eusceptor</i> , <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	Chiroptera	9
オオコウモリ科(5) <i>Pteropus</i> , <i>Rousettus</i> ; キクガシラコウモリ科(1) <i>Rhinolophus</i> ; ヒナコウモリ科(1) <i>Pipistrellus</i> ; 科不明 / Microchiroptera Family indet. (2)		
皮翼目	Dermoptera	2
ヒヨケザル科(2) <i>Cynocephalus</i>		
齧歯目	Rodentia	164
ヤマネ科(1) <i>Glirulus</i> ; リス科(65) <i>Callosciurus</i> , <i>Cynomys</i> , <i>Eutamias</i> , <i>Petaurista</i> , <i>Peteromys</i> , <i>Sciurus</i> , <i>Spermophilus</i> ; トビネズミ科(1) <i>Allactaga</i> ; ネズミ科(72) <i>Apodemus</i> , <i>Cricetomys</i> , <i>Diplothrix</i> , <i>Microtus</i> , <i>Mus</i> , <i>Myodes</i> , <i>Rattus</i> ; パカ科(3) <i>Agouti</i> ; テンジクネズミ科(9) <i>Cavia</i> , <i>Dolichotis</i> ; オマキヤマアラシ科(1) <i>Coendou</i> ; カピバラ科(1) <i>Hydrochoerus</i> ; ヤマアラシ科(2) <i>Atherurus</i> , <i>Hystrix</i> ; ノートリア科(6) <i>Myocastor</i> ; 科不明/Hystricognathi Family indet. (3)		
ウサギ目	Lagomorpha	33
ウサギ科(30) <i>Lepus</i> , <i>Oryctolagus</i> , genus indet.; ナキウサギ科(3) <i>Ochotona</i>		
異節目	Xenarthra	4
フタユビナマケモノ科(2) <i>Choloepus</i> ; オオアリクイ科(1) <i>Tamandua</i> ; アルマジロ科(1) genus indet.		
アフリカトガリネズミ目	Afrosoricida	1
テンレック科(1) <i>Echinops</i>		
岩狸目	Hyracoidea	1
イワダヌキ科(1) <i>Procavia</i>		
長鼻目	Proboscidea	2
ゾウ科(2) <i>Elephas</i> , <i>Loxodonta</i>		
有袋目	Marsupialia	16
オポッサム科(3) <i>Didelphis</i> ; カンガルー科(7) <i>Macropus</i> , genus indet.; フクロモモンガ科(1) <i>Petaurista</i> ; クスクス科(4) <i>Phalanger</i> , <i>Trichosurus</i> ; ウオンバット科(1) <i>Vombatus</i>		

哺乳類・計	Mammalia total	1881
鳥類	Aves	75
Anseriformes [カモ類] (6) <i>Aix</i> , <i>Anas</i> , <i>Anser</i> , <i>Tadoma</i> ; Ciconiiformes [コウノトリ類] (9) <i>Nycticorax</i> , <i>Ciconia</i> , <i>Phoenicoptera</i> indet.; Columbiformes [ハト類] (6) <i>Columba</i> , <i>Teron</i> ; Falconiformes [タカ類] (4) <i>Butastur</i> , <i>Milvus</i> , <i>Falco</i> ; Galliformes [キジ類] (30) <i>Bombusicola</i> , <i>Gallus</i> , <i>Lophophorus</i> , <i>Lophura</i> , <i>Pavo</i> , <i>Phasianus</i> , <i>Polyplectron</i> ; Gruiformes [ツル類] (1) <i>Gallinula</i> ; Passeriformes [スズメ類] (14) <i>Corvus</i> , <i>Carduelis</i> , <i>Coccothraustes</i> , <i>Passer</i> , <i>Turdus</i> , <i>Turdidae</i> genus indet., <i>Strunus</i> , <i>Zoothera</i> ; Perecaniformes [ペリカン類] (1) <i>Phalacrocorax</i> ; Phoenicoptera indet.; [フラミンゴ類] (2) <i>Phoenicopterus</i> ; Piciformes (1) [キツツキ類] <i>Dendrocopos</i> ; Psittaciformes [オウム類] (1) <i>Cacatua</i>		
爬虫類	Reptilia	41
有鱗目	Squamata	32
Boidae [ボア類] (3) <i>Eumeces</i> ; Chamaleonidae [カメレオン類] (5) <i>Chamaleo</i> ; Colubridae [ナミヘビ類] (5) <i>Elaphe</i> ; Gekkonidae [ヤモリ類] (3) <i>Gekko</i> ; Helodermatidae [ドクトカゲ類] (1) <i>Heloderma</i> ; Iguanidae [イグアナ類] (2) <i>Anolis</i> ; Pythonidae [ニシキヘビ類] (3) <i>Morelia</i> , <i>Python</i> ; Scincidae [トカゲ類] (2) <i>Corucia</i> ; Varanidae [オオトカゲ類] (1) <i>Varanus</i> ; Viperidae [クサリヘビ類] (3) <i>Gloydius</i> ; Xenosauridae [コブトカゲ類] (3) <i>Shinisaurus</i> ; Squamata Family indet. [有鱗目科不明] (1) Family indet.		
カメ目	Testudinines	7
Cheloniidae [ウミガメ類] (3) <i>Caretta</i> , <i>Chelonia</i> ; Geomyidae [イシガメ科] (1) <i>Cuora</i> ; Pelomedusidae [ヨコビガメ類] (1) <i>Podocnemis</i> ; Testudinidae [リクガメ類] (1) <i>Pyxis</i> ; Trionychidae [スッポン類] (1) <i>Lissemys</i>		
ワニ目	Crocodylia	2
Alligatoridae [アリゲーター類] (2) <i>Alligator</i> , genus indet.		
両生類	Amphibia	12
無尾目	Urodela	2
Ambystomatidae [トラフサンショウウオ科] (1) <i>Ambystoma</i> ; Salamandroidae [イモリ類] (1) <i>Tylotriton</i>		
有尾目	Anura	10
Bufonidae [ヒキガエル類] (2) <i>Bufo</i> , <i>Rhinella</i> ; Dendrobatidae [ヤドクガエル類] (1) <i>Phyllobates</i> ; Hylidae [アマガエル類] (2) <i>Phyllomedusa</i> ; Megophryidae [コノハガエル類] (3) <i>Megophrys</i> ; Ranidae [アカガエル類] (1) <i>Rana</i> ; Rhacophoridae [アオガエル類] (1) <i>Theloderma</i>		
魚類	Pisces	2
Perciformes [スズキ類] (2) <i>Lateolabrax</i> , <i>Pagrus</i>		
総計	Total	2011

表 3 霊長類以外の液浸標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	Carnivora	69
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(4) <i>Canis</i> , <i>Urocyon</i> ; イタチ科(34) <i>Aonyx</i> , <i>Martes</i> , <i>Mustela</i> ; アシカ科(1) <i>Otariidae</i> indet.;		

クマ科(10) <i>Selenarctos</i> ; ネコ科(3) <i>Felis</i> ; ジャコウネコ科(4) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> ; 科不明/Family indet.(12)		
偶蹄目	Artiodactyla	2
ウシ科(2) <i>Capricornis</i>		
ツバイ目	Scandentia	21
ツバイ科(21) <i>Tupaia</i>		
トガリネズミ目	Soricomorpha	11
トガリネズミ科(8) <i>Sorex</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(3) <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	Chiroptera	4
オオコウモリ科(4) <i>Rousettus</i>		
齧歯目	Rodentia	113
リス科(2) <i>Cynomys</i> , <i>Sciuridae</i> indet.; ネズミ科(110) <i>Clethrionomys</i> , <i>Rattus</i> ; ストリア科(1) <i>Myocastor</i>		
ウサギ目	Lagomorpha	1
ウサギ科(1) <i>Leporidae</i> indet.		
アフリカトガリネズミ目	Afrosoricida	1
テンレック科(1) <i>Tenrecidae</i> indet.		
有袋目	Marsupialia	10
カンガルー科(2) <i>Thylacale</i> , <i>Macropodidae</i> indet.; フクロネコ科(1) <i>Sarcophilus</i> ; フクロモモンガ科(3) <i>Petaurus</i> ; クスクス科(3) <i>Trichosurus</i> ; リングテイル科 (1) <i>Pseudocheirus</i>		
哺乳類・計	Mammalia total	232
鳥類	Aves (1)	Galliformes - <i>Gallus</i> [ニワトリ]
爬虫類	Reptilia (1)	Squamata indet. [トカゲ]
総計	Total	234

表 4 霊長類分子生物学用試料

和名	学名	個体数
ホミノイド	Hominoidea	71
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	40
ボノボ	<i>Pan paniscus</i>	1
ゴリラ	<i>Gorilla gorilla</i>	12
オランウータン属	<i>Pongo sp.</i>	11
テナガザル属	<i>Hylobates sp.</i>	3
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	4
旧世界ザル	Cercopithecoidea	75
マカク属	<i>Macaca spp.</i>	71
サバンナモンキー属	<i>Cercopithecus sp.</i>	3
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	1
新世界ザル	Ceboidea	56
マーモセット属	<i>Callithrix sp.</i>	46
タマリン属	<i>Saguinus oedipus</i>	4
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	2
フサオマキザル	<i>Cebus caputinus</i>	1
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	3

6. 人事異動

所属分野等	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
	所長	湯本 貴和	H28.4.1	併任	任期は H30.3.31 まで
	副所長	高田 昌彦	H28.4.1	併任	任期は H29.3.31 まで
思考言語分野	教授	友永 雅己	H28.4.1	昇任	思考言語分野・准教授より
進化形態分野	助教	伊藤 毅	H28.4.1	採用	日本学術振興会特別研究員 (PD) より
国際共同先端研究センター	特定職員	檜垣 早紀	H28.5.1	採用	
国際共同先端研究センター	教授	BERCOVITCH, Fred Bruce	H29.3.31	定年退職	
細胞生理分野	助教	木下 こづえ	H29.3.31	退職	野生動物研究センター・助教へ

7. 海外渡航

(1) 教職員

所属	氏名	期間	目的国	目的
細胞生理	木下こづえ	2016/4/10～4/23	インド	野外調査・研究連絡
系統発生	西村剛	2016/4/13～4/18	アメリカ	AAPA 85th Annual Meeting 参加及び研究プロジェクト推進準備
統合脳システム	高田昌彦	2016/4/14～4/20	アメリカ	研究連絡、共同研究実験
統合脳システム	井上謙一	2016/4/14～4/20	アメリカ	研究連絡、共同研究実験
進化形態	濱田穰	2016/4/14～4/25	タイ	形態野外調査、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/5/2～5/8	台湾	研究連絡、情報収集、セミナー参加
国際センター	FB Bercovitch	2016/5/3～5/14	アメリカ	WILDLIFE CONSERVATION EXPO、INTERNATIONAL GIRAFFID CONFERENCE 参加・資料収集、研究連絡
生態保全	湯本貴和	2016/5/28～6/6	ブラジル	研究連絡、資料収集
進化形態	伊藤毅	2016/6/2～6/7	タイ	研究連絡
進化形態	濱田穰	2016/6/2～6/13	タイ	カニクイザルの生態学的調査、研究連絡
ゲノム進化	平井啓久	2016/6/10～6/14	インドネシア	テナガザルの調査、情報収集
生態保全	湯本貴和	2016/6/10～6/14	インドネシア	PWS 履修生への研究指導、研究連絡
系統発生	高井正成	2016/6/13～6/23	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本整理
系統発生	江木直子	2016/6/19～6/24	ミャンマー	化石標本整理・観察
チンパンジー (林原)	藤澤道子	2016/6/19～8/1	ギニア・フランス	野生チンパンジーの生態調査、研究連絡
進化形態	濱田穰	2016/6/20～6/24	韓国	AOSCE 参加・発表・資料収集
思考言語	林美里	2016/6/23～6/29	マレーシア	研究連絡
生態保全	湯本貴和	2016/6/25～7/3	コンゴ民主共和国	研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/6/25～7/6	英国・アイルランド	国際シンポジウム参加・発表・情報収集
社会進化	古市剛史	2016/6/25～8/1	コンゴ民主共和国	PWS 履修生への研究指導、情報収集
認知学習	後藤幸織	2016/7/1～7/6	韓国	第 46 回日本神経精神薬理学会及び第 30 回国際神経精神薬理学会参加・発表・情報収集

細胞生理	古賀章彦	2016/7/1～7/11	オーストラリア	国際分子進化学会参加・発表・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2016/7/2～7/4	韓国	第46回日本神経精神薬理学会参加・発表・情報収集
生態保全	橋本千絵	2016/7/19～8/30	ウガンダ・アメリカ	野生チンパンジーの生態調査、研究連絡、第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
細胞生理	木下こづえ	2016/7/20～8/1	インド	野外調査・資料収集
社会進化	MA Huffman	2016/7/23～7/30	デンマーク	JNPC2016 参加・発表・情報収集、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/8/7～8/23	インド	野生中央ヒマラヤラングールの行動生態調査・資料収集
社会進化	辻大和	2016/8/13～9/15	インドネシア・アメリカ	野外調査、研究連絡、第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
認知学習	香田啓貴	2016/8/17～9/26	オーストリア	研究連絡
思考言語	友永雅己	2016/8/18～8/27	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
センター	宮部貴子	2016/8/19～9/3	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
進化形態	濱田穰	2016/8/19～9/11	タイ・中国・ミャンマー	霊長類形態学調査、資料収集、研究連絡
国際センター	FB Bercovitch	2016/8/19～9/3	タンザニア	PWS 履修生への研究指導、情報収集
社会進化	古市剛史	2016/8/20～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
細胞生理	木下こづえ	2016/8/20～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
国際センター	足立幾磨	2016/8/20～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
国際センター	檜垣早紀	2016/8/20～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・プロモーション活動
進化形態	伊藤毅	2016/8/21～8/27	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
ゲノム進化	平井啓久	2016/8/21～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	林美里	2016/8/21～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
系統発生	西村剛	2016/8/21～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・プロジェクト推進事前調査
生態保全	湯本貴和	2016/8/22～8/26	オーストラリア	シドニー大学訪問・ワークショップ参加
社会進化	MA Huffman	2016/8/28～9/15	イタリア	研究連絡、研究指導
高次脳機能	中村克樹	2016/8/30～9/5	キューバ	IOP 参加・情報収集
細胞生理	木下こづえ	2016/9/2～9/7	マレーシア	2016 Wild Medicine Clinical Technique Training Course 参加・発表・情報収集
細胞生理	岡本宗裕	2016/9/21～9/28	インドネシア	疫学的調査
センター	橋本直子	2016/9/21～9/30	タンザニア	野生動物の観察・資料収集
生態保全	半谷吾郎	2016/9/29～12/27	スイス	腸内細菌の遺伝子解析、資料収集
センター	明里宏文	2016/10/10～10/16	アメリカ	34th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS
社会進化	MA Huffman	2016/10/14～10/27	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集、野生霊長類生態行動調査
センター	川本芳	2016/10/15～10/24	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集
進化形態	濱田穰	2016/10/15～10/24	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集、研

				究連絡
進化形態	伊藤毅	2016/10/16～10/24	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集、研究連絡
センター	田中洋之	2016/10/16～10/24	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集、研究連絡
社会進化	辻大和	2016/10/16～10/24	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集、研究連絡
社会進化	古市剛史	2016/10/17～10/26	ウガンダ	チンパンジーの野外調査、
生態保全	湯本貴和	2016/10/18～10/21	スリランカ	JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップセミナー参加・発表・資料収集
センター	鈴木樹理	2016/10/20～10/25	台湾	第9回アジア保全医学会大会参加・発表・情報収集
細胞生理	木下こづえ	2016/11/1～2017/1/29	フランス	人間と生物圏プログラムに参加資料・情報収集
高次脳機能	宮地重弘	2016/11/11～11/18	アメリカ	第46回北米神経科学会大会参加・発表・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2016/11/11～11/18	アメリカ	第46回北米神経科学会大会参加・発表・資料収集、研究連絡
統合脳システム	井上謙一	2016/11/12～11/18	アメリカ	第46回北米神経科学会大会参加・発表・資料収集
センター	川本芳	2016/11/21～12/6	ネパール・ブータン	野外調査・遺伝子分析実験、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/11/21～12/7	アメリカ・カナダ	国際シンポジウム参加・発表・情報収集、研究連絡
統合脳システム	井上謙一	2016/11/30～12/4	アメリカ	NHP Chemogenetics workshop 参加・発表・情報収集、研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2016/11/30～12/4	アメリカ	NHP Chemogenetics workshop 参加・情報収集、研究連絡
国際センター	FB Bercovitch	2016/12/3～12/11	ドイツ	情報収集、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/12/11～12/19	チェコ・オーストリア	研究連絡、セミナー参加
社会進化	古市剛史	2016/12/15～2017/1/9	ウガンダ	野生チンパンジーの生態調査
センター	岡本宗裕	2016/12/16～12/24	ラオス	疫学調査・試料収集
生態保全	橋本千絵	2016/12/17～2017/1/7	ウガンダ	野生チンパンジーの生態調査、研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2016/12/21～12/23	中国	研究連絡、ミニシンポジウム参加・発表
進化形態	濱田穰	2016/12/22～2017/1/1	ミャンマー・タイ	分布・形態野外調査、研究連絡
思考言語	友永雅己	2017/1/4～1/9	フランス	シンポジウム参加、研究連絡
ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)	早川卓志	2017/1/7～1/21	インドネシア	現地調査、情報収集、研究連絡
進化形態	濱田穰	2017/1/15～1/29	タイ・インド	研究連絡、分布・形態野外調査
進化形態	伊藤毅	2017/1/15～1/20	タイ	共同研究、研究連絡
生態保全	半谷吾郎	2017/2/7～3/17	ガボン	試料収集・研究連絡
社会進化	辻大和	2017/2/16～2/27	インドネシア	野外調査・データ収集
センター	田中洋之	2017/2/17～3/3	ミャンマー	霊長類分布調査、研究連絡
系統発生	高井正成	2017/2/20～3/20	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本整理・観察
センター	川本芳	2017/3/1～3/15	スリランカ・タイ	野外調査、研究連絡、遺伝子分析

ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)	早川卓志	2017/3/5～3/19	オーストラリア	研究連絡、調査地視察
社会進化	MA Huffman	2017/3/7～3/29	スリランカ	生態調査、試料収集、研究連絡
進化形態	伊藤毅	2017/3/12～3/23	タイ	共同研究、研究連絡
系統発生	江木直子	2017/3/15～3/20	ミャンマー	化石標本整理・観察
高次脳機能	中村克樹	2017/3/15～3/18	韓国	AORC for Marmoset 参加・発表・情報収集
生態保全	湯本貴和	2017/3/18～3/31	ブラジル	研究連絡、情報収集
国際センター	足立幾磨	2017/3/20～3/23	アメリカ	研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2017/3/24～4/2	メキシコ	IBAGS2017 参加・資料収集、研究連絡
細胞生理	木下こづえ	2016/4/10～4/23	インド	野外調査・研究連絡
系統発生	西村剛	2016/4/13～4/18	アメリカ	AAPA 85th Annual Meeting 参加及び研究プロジェクト推進準備
統合脳システム	高田昌彦	2016/4/14～4/20	アメリカ	研究連絡、共同研究実験
統合脳システム	井上謙一	2016/4/14～4/20	アメリカ	研究連絡、共同研究実験
進化形態	濱田穰	2016/4/14～4/25	タイ	形態野外調査、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2016/5/2～5/8	台湾	研究連絡、情報収集、セミナー参加
国際センター	FB Bercovitch	2016/5/3～5/14	アメリカ	WILDLIFE CONSERVATION EXPO、INTERNATIONAL GIRAFFID CONFERENCE 参加・資料収集、研究連絡
生態保全	湯本貴和	2016/5/28～6/6	ブラジル	研究連絡、資料収集
進化形態	伊藤毅	2016/6/2～6/7	タイ	研究連絡
進化形態	濱田穰	2016/6/2～6/13	タイ	カニクイザルの生態学的調査、研究連絡
ゲノム進化	平井啓久	2016/6/10～6/14	インドネシア	テナガザルの調査、情報収集
生態保全	湯本貴和	2016/6/10～6/14	インドネシア	PWS 履修生への研究指導、研究連絡

(2) 大学院生

所属	氏名	期間	目的国	目的
生態保全	武真祈子	2016/1/29～6/29	ブラジル	PWS 自主 FW 実習、意見交換会参加
生態保全	C Sarabian	2016/4/14～7/5	コンゴ民主共和国	PWS 自主 FW 実習
社会進化	戸田 和弥	2016/5/7～11/4	コンゴ民主共和国	PWS 自主 FW 実習
社会進化	S Bernstein	2016/6/18～6/25	ギリシャ	2nd Annual International Conference on Biology 参加・情報収集
社会進化	豊田有	2016/6/1～8/27	タイ	野外調査、分析実験、試料収集
社会進化	岡村弘樹	2016/6/25～11/4	コンゴ民主共和国	ボノボの野外調査、情報収集
社会進化	S Bernstein	2016/7/3～7/16	チェコ・オーストリア	16th Annual Gatherings in Biosemiotics 参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	D Wilson	2016/7/10～7/22	英国	ISAE2016 参加・発表・情報収集、観察
生態保全	峠明杜	2016/7/20～9/22	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習
生態保全	武真祈子	2016/8/6～9/9	ブラジル	PWS 自主 FW 実習
社会進化	柳興鎮	2016/8/17～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
思考言語	川口ゆり	2016/8/17～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
社会進化	RSC Takeshita	2016/8/17～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
思考言語	A Morgane	2016/8/17～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
生態保全	C Sarabian	2016/8/18～9/12	アメリカ	第26回国際霊長類学会及び IUCN World Conservation Congress Hawai 2016 参加・発表・資料収集
思考言語	G Jie	2016/8/18～8/30	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・

				資料収集、研究連絡
思考言語	D Wilson	2016/8/18～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集、研究連絡
社会進化	石塚真太郎	2016/8/20～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
社会進化	S Bernstein	2016/8/20～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
細胞生理	L Frias	2016/8/20～9/2	アメリカ・ドイツ	第26回国際霊長類学会及び12th EWDA Conference 参加・発表・資料収集
思考言語	A Morgane	2016/8/30～2017/1/9	ギニア・フランス	PWS 自主 FW 実習
社会進化	豊田有	2016/9/9～12/11	タイ	野外調査、分析実験、試資料収集
思考言語	G Jie	2016/9/21～9/30	タンザニア	PWS 自主 FW 実習
思考言語	川口ゆり	2016/9/21～9/30	タンザニア	PWS 自主 FW 実習
細胞生理	L Frias	2016/9/21～9/30	タンザニア	PWS 自主 FW 実習

(3) 教務補佐員・技術補佐員・研究支援推進員

所属	氏名	期間	目的国	目的
長期野外	岡野鈴子	2016/3/14～6/14	ウガンダ	野外調査、データ収集

(4) 研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	R Mendonca	2016/4/29～7/1	ポルトガル	野生馬の調査、比較認知科学研究に関するデータ収集、研究連絡
思考言語	金森朝子	2016/5/31～6/6	マレーシア	研究連絡
国際センター	C Watson	2016/7/9～7/22	英国	ISAE 国際会議出席・発表・資料収集
統合脳システム	K McCairn	2016/7/13～7/16	韓国	国際シンポジウム参加・発表・情報収集
生態保全	澤田晶子	2016/7/17～8/17	マダガスカル	ジェントルキツネザルの野外調査・資料収集、研究連絡
生態保全	西川真理	2016/8/10～9/1	コスタリカ	野外調査・資料収集
思考言語	村松明徳	2016/8/16～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
思考言語	R Mendonca	2016/8/17～8/30	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
国際センター	C Watson	2016/8/17～8/30	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
思考言語	綿貫宏史朗	2016/8/17～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
生態保全	澤田晶子	2016/8/19～8/29	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	打越万喜子	2016/8/21～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
社会進化	竹元博幸	2016/8/30～9/27	ウガンダ	生態調査、資料収集、研究連絡
統合脳システム	K McCairn	2016/9/5～9/8	韓国	共同研究
長期野外	徳山奈帆子	2016/10/1～11/20	ラオス・タイ	国際機関における野生霊長類の保全活動の視察・実践
統合脳システム	K McCairn	2016/10/9～10/14	韓国	共同研究
統合脳システム	藤原真紀	2016/11/12～11/18	アメリカ	第46回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
統合脳システム	K McCairn	2016/11/13～11/18	韓国	共同研究
思考言語	R Mendonca	2016/11/13～11/22	ブラジル	II Research Symposium on Primates in the AMAZON 参加・発表・資料収集・研究連絡
統合脳システム	K McCairn	2016/12/11～12/16	韓国	共同研究

長期野外	徳山奈帆子	2016/12/15～2017/3/14	ウガンダ	野生チンパンジーの生態調査、資料収集
思考言語	R Mendonca	2017/1/5～1/9	フランス	シンポジウム参加・情報収集・研究連絡
長期野外	坂巻哲也	2017/1/28～7/29	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査、研究連絡
統合脳システム	K McCairn	2017/2/19～2/24	韓国	共同研究
思考言語	櫻庭陽子	2017/3/5～3/10	アメリカ	研究連絡、施設見学

(5) 学振特別研究員(PD)・外国人特別研究員

所属	氏名	期間	目的国	目 的
思考言語	川上文人	2016/5/25～5/30	アメリカ	国際乳児研究学会参加・発表、資料収集
思考言語	川上文人	2016/6/23～6/29	マレーシア	研究連絡
思考言語	川上文人	2016/8/17～8/28	アメリカ	第26回国際霊長類学会参加・発表・資料収集

8. 非常勤講師

(壺) 入来篤史 (慶應義塾大学 客員教授)

「地球人の脳と心：～境界と道具～」2017年2月9日～2月10日

(理) 羽山伸一 (日本獣医生命科学大学・教授)

「野生動物の管理と保全」2016年12月12日～12月13日

(理) 牛田一成 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科・教授)

「哺乳類の腸内細菌」2017年1月5日～1月6日

(理) 松原 始 (東京大学総合研究博物館・特任助教)

「カラス学」2016年11月17日～11月18日

9. リサーチ・アシスタント(R・A)

(氏名：採用期間)

入口 真夕子 : 2016.5.16～2017.3.31

若森 参 : 2016.5.1～2017.3.31

戸田 和弥 : 2016.5.16～2017.3.31

10. ティーチング・アシスタント(T・A)

(氏名：採用期間)

一般 TA

浅見 真生 : 2016.8.1～2016.12.31

糸井川 壮太 : 2016.8.1～2016.12.31

岩沖 晴彦 : 2016.8.1～2016.12.31

西 栄美子 : 2016.8.1～2016.12.31

ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel
: 2016.8.16～2016.12.31

西山 瑠衣 : 2016.11.1～2016.11.30

黒木 康太 : 2017.1.1～2017.1.31

樋原 慧 : 2017.2.1～2017.2.28

全学共通科目 TA

石塚 真太郎 : 2016.4.16～2016.7.31

川口 ゆり : 2017.1.1～2017.1.31

国際センターTA

入口 真夕子 : 2016.7.1～2016.7.31

岩沖 晴彦 : 2016.8.1～2016.8.31

樋原 慧 : 2016.8.1～2016.8.31

SARABIAN, Cecile Anna
: 2017.2.1～2017.3.31

ILAS セミナーTA

北島 龍之介 : 2016.5.1～2016.7.31

西 栄美子 : 2016.5.1～2016.7.31

入口 真夕子 : 2016.8.1～2016.9.30

11. 年間スケジュール

2016 年

4 月 1 日	新入生オリエンテーション
4 月 21 日	新入所員歓迎会
6 月 18 日	本学創立記念日
7 月 30-31 日	犬山公開講座「探求心を刺激します」
8 月 2-4 日	大学院修士課程入学試験
10 月 12 日	サル慰霊祭
10 月 30 日	市民公開日
11 月 2 日	運営委員会

2017 年

1 月 20 日	博士論文発表会
1 月 23 日	修士論文発表会
2 月 14-15 日	オープンキャンパス
3 月 16 日	運営委員会